

# 施策評価調書

整理番号 **15**

■ 総合計画(後期基本計画)

政策名	Ⅲ 健やか安心都市
施策名	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進

所管部局	所管部局長の氏名
市民部	木村 嘉充
健康長寿福祉部	中村 悦雄

1 関連する個別計画 **PLAN**

個別計画名称	計画概要	計画年次	計画期間	備考
京丹後市ひとり親家庭等自立促進計画	市内のひとり親家庭等の生活実態、諸問題等を把握し、経済的支援のみならず、就労支援や育児支援、相談事業の充実等により、ひとり親家庭等の生活の安定と向上を図ることを目的に、本計画を策定	平成21年4月	平成21年度～平成26年度	
京丹後市地域福祉計画	地域福祉を推進するため地域福祉の現状と課題を把握、分析の上、4つの基本目標を設定し、それぞれの基本目標を達成するための取組の方向を定めたもの	平成19年3月	平成19年度～平成23年度	第2次京丹後市地域福祉計画策定(平成24年3月)

2 施策目的(何を対象にどのような状態にしたいのか・どのような状態に持っていきたいのか)

No.	施策目的	関連する施策方針
1	離職や病気等により様々な生活上の困難を抱えている方に対する必要な資金の貸付、扶助費の支給などの生活支援を行うことにより、市民福祉を充実・向上させる。	4 地域で支えあう福祉の環境づくり
2	市内の福祉団体等(社会福祉協議会、民生児童委員会、母子寡婦福祉会など)を支援するとともに連携・協働をすることで、支えあい助けあいの地域社会を実現する。	4 地域で支えあう福祉の環境づくり
3	住民の健康づくりと福祉の推進を図るための事業実施の拠点施設として、また住民の窓口としての施設の適正な維持管理を図る。	3 利用しやすい福祉サービスの環境整備 4 地域で支えあう福祉の環境づくり

3 目標値など

総合計画	めざす目標	指標名	総合計画作成時(H17)		後期基本計画作成時(H20)		H23年度実績値(現状)		目標(H26)	
			年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	地域福祉活動を推進します	地域福祉を担うボランティアの人数	2,700人	H16	2,885人	H20	3,434人	H23	3,500人	H26

個別計画	個別計画名称	指標名	説明・備考	計画策定時		H23年度実績値(現状)		目標	
				年度	年度	年度	年度		
	なし								

4 評価結果一覧 **DO**

施策方針	事務事業 事業内容(実績) 担当課	予算額(単位:千円)		事務事業評価結果								施策評価結果					
		H23決算額	H24予算額(一般財源)	根拠法令	単独事業	財政負担	事業種別	対象	実施手法	関与必要性	数値	説明	施策目的	施策貢献度	今後の方向性		
1 福祉ボランティアの育成・支援	「福祉人材育成事業」や「社会福祉協議会での事業」など、施策方針「地域で支えあう福祉の環境づくり」の中の事務事業で実施している。																
2 地域福祉団体のネットワークづくり	福祉施策実施のためには福祉団体相互の連携は不可欠であることから、それぞれの事務事業において常に連携を行っている。																
3 利用しやすい福祉サービスの環境整備	1 網野健康福祉センター管理事業 網野健康福祉センターの維持管理	5,126	4,516(4,319)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直・委	4	民間補充福祉増進	3	S	現状維持			
4 地域で支えあう福祉の環境づくり	1 峰山総合福祉センター管理事業 福祉事務所としての峰山総合福祉センターの維持管理(利用状況:581件、18,989人)	10,501	10,572(9,811)	市規定	含む	単費	維持管理	市民	直・委	4	民間補充福祉増進	3	S	現状維持			
	2 行旅死亡人等取扱事務 死体の埋葬又は火葬を行う者がいない死体について、火葬、葬祭及び埋葬を実施(2件)	196	191	義務	-	国・一部	-	-	-	-	-	1	S	現状維持			
	3 戦没者追悼事業 戦没者追悼式を挙行(参列者316人)、全国戦没者追悼式(8人)・京都府戦没者追悼式(85人)へ参列	905	1,029(997)	なし	含む	府・一部	サービス	市民	直・委	1	該当なし	1	B	現状維持			
	4 地域福祉計画策定事業 より継続的・系統的に地域福祉を推進していくため、第2次地域福祉計画を策定	2,558	-	国規定	-	単費	内部管理	-	-	-	-	1,2	S	現状維持			
	5 健康と福祉のまちづくり審議会事業 審議会及び部会の開催(審議会:2回、部会:22回)	461	364(364)	市規定	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	1,2	S	現状維持			
	6 支えあいの地域づくり推進事業 「支えあいの地域づくり推進委員会(4回開催)」において検討した提言を市長に提出	40	50(50)	市規定	含む	単費	内部管理	-	-	-	-	2	A	現状維持			
	7 生活保護運営管理事業 生活保護受給者の自立を支援する生活相談、就労支援、健康相談等を実施	10,567	20,287(2,642)	国規定	含む	国・一部	サービス	市民	直・委・他	5	生活支援安全網	1	S	現状維持			
	8 生活保護費支給事業 生活困窮世帯に対して、生活保護法による扶助費を支給(371世帯561人)	713,045	737,104(184,275)	義務	-	国・一部	-	-	-	-	-	1	S	現状維持			
	9 ぐらしの資金貸付事業 一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し緊急に必要な資金の貸付を実施(申請51件、貸付39件)	3,615	6,139(2,033)	市規定	含む	単費	サービス	市民	委・他	5	生活支援安全網	1	S	現状維持			
	10 住宅手当緊急特別措置事業 就労意欲のある離職者のうち、住宅を喪失している者等に対し住宅手当を支給(支給件数4件)	434	1,760	国規定	-	国府全額	サービス	市民	直・補	5	生活支援安全網	1	A	現状維持			
	11 民生児童委員活動事業 民生児童委員活動の活動に対して補助金を交付(委員数195人)	20,892	21,128(8,999)	なし	含む	府・一部	サービス	団体	直・補	6	生命財産権利保護	2	S	現状維持			
	12 災害時要援護者支援事業 災害時要援護者支援システムによる台帳管理	765	431(431)	国規定	含む	国・一部	サービス	市民	直・委	6	生命財産権利保護	1	S	現状維持			
	13 母子寡婦福祉会活動費補助金 母子寡婦福祉会に対し活動費補助金を交付(会員数 190人)	500	500(500)	なし	含む	単費	サービス	団体	補	2	特定サービス	2	A	現状維持			
	14 父子会活動費補助金 父子会に対し活動費補助金を交付(会員数 8人)	49	20(20)	なし	含む	単費	サービス	団体	補	2	特定サービス	2	A	現状維持			
	15 社会福祉協議会運営費補助金 社会福祉協議会の職員人件費等に対する補助金交付(本所及び5支所、補助対象職員19人)	73,740	73,740(73,740)	なし	含む	単費	サービス	法人	補	4	民間補充福祉増進	2	S	現状維持			
	16 地域福祉活動事業補助金 社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業に対し補助金を交付(福祉教育事業、ふれあいサロン等)	850	850(850)	なし	含む	単費	サービス	法人	補	2	特定サービス	2	S	現状維持			
	17 京丹後市社会福祉大会開催事業 福祉関係者が一堂に会し、福祉社会の形成を図ることを目的に開催	165	-	なし	含む	単費	サービス	市民	直	1	該当なし	1	C	現状維持			
	18 福祉人材育成事業 地域福祉を担う人材を育成するための啓発講演会を開催	45	127(127)	なし	含む	単費	サービス	市民	直	7	生活維持確保	1	B	現状維持			
	19 社会福祉総務一般経費 福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費、高齢者等世帯の雪下ろし等支援(159件)	9,544	8,736(8,593)	なし	含む	国・一部	サービス	市民	直・補	5	生活支援安全網	3	S	現状維持			
	20 災害見舞金等事業 被災された市民に対し災害見舞金(7件)・災害弔慰金(2件)を支給、東日本大震災による市内避難世帯に見舞金を支給	1,260	400(400)	市規定	含む	単費	サービス	市民	扶	1	該当なし	1	S	現状維持			
	21 被災者対策住宅復旧資金利子補給金 平成18年7月豪雨による住宅被害復旧のための借入金に対し利子補給金を交付(2件)	100	100(100)	市規定	含む	単費	サービス	市民	補	1	該当なし	1	S	現状維持			
計		855,358	888,044(298,251)														

## 5. 今後の施策展開について

## ACTION

財源が減少していく中で、効率的・効果的に施策を推進するために、どのように施策展開を図っていくのか	No.	歳出抑制の考え方	補完・代替措置などがある場合は、その内容
	1	国制度による義務的事業や扶助費以外の全事業について、優先度による仕分けを行い経費削減及び事業廃止の可能性について検討する。	

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	14網野健康福祉センター-管理事業								
細事業名	01 網野健康福祉センター-管理事業			決算書 P.122								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率								
5,126千円		5,282千円	156千円	97.0%								
目的	住民の健康づくりとまちづくりの推進を図るため、住民の窓口となる網野健康福祉センターを適切に維持管理する。											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○施設の維持管理費</p> <table border="0"> <tr> <td>需用費（消耗品費・光熱水費・修繕料）</td> <td>2,679千円</td> </tr> <tr> <td>役務費（通信運搬費・浄化槽法定検査・火災保険料）</td> <td>191千円</td> </tr> <tr> <td>委託料（設備維持管理及び保守点検業務・庁舎清掃業務）</td> <td>2,229千円</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料（清掃用具借上料）</td> <td>27千円</td> </tr> </table> <p>＜施設の主な事業内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センター分室 （介護に関する相談、支援、予防に関する事業）</li> <li>・ 指定通所介護事業所 （要介護者のデイサービス）</li> <li>・ 地域栄養支援センター （自炊困難者への配食サービス）</li> </ul>				需用費（消耗品費・光熱水費・修繕料）	2,679千円	役務費（通信運搬費・浄化槽法定検査・火災保険料）	191千円	委託料（設備維持管理及び保守点検業務・庁舎清掃業務）	2,229千円	使用料及び賃借料（清掃用具借上料）	27千円
需用費（消耗品費・光熱水費・修繕料）	2,679千円											
役務費（通信運搬費・浄化槽法定検査・火災保険料）	191千円											
委託料（設備維持管理及び保守点検業務・庁舎清掃業務）	2,229千円											
使用料及び賃借料（清掃用具借上料）	27千円											
主な財源	使用料 公有財産使用料		167千円									
	諸収入 公衆電話代		4千円									
評価・課題等	<p>○住民の健康づくり、安全・安心のまちづくりを推進する拠点施設としての管理運営の充実を図るため、適切な維持管理を行った。</p> <p>○施設設置後10年が経過する中、施設の経年劣化がみられるため、計画的な維持管理をする必要がある。</p>											
事業所管課	市民部／網野市民局											

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	13峰山総合福祉センター-管理事業																		
細事業名	01 峰山総合福祉センター-管理事業			決算書 P.122																		
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																		
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																		
10,501千円		10,511千円	10千円	99.9%																		
目的	福祉事務所としての峰山総合福祉センター維持管理のほか、市民や各種団体に会議・イベント等で幅広く活用していただけるよう設備機能の充実を図る。																					
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費（空調用燃料ほか） 1,401千円</li> <li>・光熱水費（電気使用料、上下水道使用料） 4,153千円</li> <li>・日直代行業務委託料 1,375千円</li> <li>・エレベーター保守点検委託料 680千円</li> <li>・施設清掃業務委託料 470千円</li> <li>・自家用電気工作物保安管理業務委託料 289千円</li> <li>・移動観覧席保守点検業務委託料 273千円</li> <li>・空調設備保守点検業務委託料 240千円</li> <li>・建築設備定期報告業務委託料 221千円</li> <li>・その他施設管理費（機械警備、施設修繕料、土地借上料ほか） 1,399千円</li> </ul> <p>○峰山総合福祉センター利用実績</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>利用件数</th> <th>利用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コミュニティホール</td> <td>214件</td> <td>14,535人</td> </tr> <tr> <td>研修室</td> <td>168件</td> <td>2,271人</td> </tr> <tr> <td>和室1</td> <td>116件</td> <td>1,287人</td> </tr> <tr> <td>和室2</td> <td>83件</td> <td>896人</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>581件</td> <td>18,989人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用件数、利用人数は利用申請書により計上したものの。</p>					利用件数	利用人数	コミュニティホール	214件	14,535人	研修室	168件	2,271人	和室1	116件	1,287人	和室2	83件	896人	合計	581件	18,989人
	利用件数	利用人数																				
コミュニティホール	214件	14,535人																				
研修室	168件	2,271人																				
和室1	116件	1,287人																				
和室2	83件	896人																				
合計	581件	18,989人																				
主な財源	使用料 峰山総合福祉センター-使用料			705千円																		
評価・課題等	<p>○適正な施設の管理を行うことで、福祉事務所の機能維持を図るとともに、福祉センターとして市民や各種団体に幅広く利用していただき、市民の健康づくり及び福祉の充実を図ることができた。</p> <p>○福祉センターの維持管理経費の削減に努めているが、施設の老朽化に伴う修繕経費の増加が予想されるため、計画的な予算執行に努め、施設の適正な維持管理を行っていく必要がある。</p>																					
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																					

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	02行旅死亡人等取扱事務
細事業名	01 行旅死亡人等取扱事務			決算書 P.118
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
196千円		198千円	2千円	98.9%
目的	市は、埋葬又は火葬を行う者がいない死体について「墓地、埋葬等に関する法律」の規定により、これを行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>京丹後警察からの聞きとり等調査した結果、死体の埋葬又は火葬を行う者が存在しないと判明したので、2体の火葬、葬祭及び埋葬を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○需用費 <ul style="list-style-type: none"> <li>消耗品費（棺、納体袋、骨箱等2体分） 110 千円</li> </ul> </li> <li>○役務費 <ul style="list-style-type: none"> <li>死体検案書作成手数料 10 千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>* 京都府立医科大学大学院法医学教室 2体分</li> </ul> </li> <li>遺体搬送料（2体分） 25 千円</li> <li>火葬料（2体分） 30 千円</li> <li>遺体処置料（2体分） 21 千円</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源	諸収入 死亡人火葬取扱費用精算金			100千円
評価・課題等	警察、自治区、京都府等の協力のもと、公衆衛生その他公共の福祉の見地から、火葬等を滞りなく執行できた。			
事業所管課	市民部／市民課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	07援護事業
細事業名	01 戦没者追悼事業			決算書 P.120
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
905千円		964千円	59千円	93.8%
目的	戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに平和を祈念する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに平和を祈念するため京丹後市戦没者追悼式を実施した。また、全国戦没者追悼式、京都府戦没者追悼式へ参列した。</p> <p>○京丹後市戦没者追悼式  開催日：平成23年11月9日（水）  場 所：京都府丹後文化会館  参列遺族数：316人  報償費（司会者謝金） 10千円  需用費（祭壇ほか） 196千円  役務費（クリーニング代ほか） 27千円  委託料（送迎使用市バス運転委託料） 18千円  使用料及び賃借料（送迎バス借上料（13台）ほか） 519千円</p> <p>○全国戦没者追悼式  開催日：平成23年8月15日（月）  場 所：日本武道館（東京都）  参列遺族数：8人  旅費（京丹後市内の駅～京都駅までの参列者の旅費ほか） 69千円</p> <p>○京都府戦没者追悼式  開催日：平成23年10月11日（火）  場 所：国立京都国際会館（京都市）  参列遺族数：85人  旅費（随行職員旅費ほか） 13千円  食糧費（参列者食事代） 53千円</p>			
主な財源	府補	援護事務交付金		77千円
評価・課題等	○戦没者を追悼し、遺族を慰謝激励するとともに、世界の恒久平和等を願うことができた。 ○京丹後市戦没者追悼式参列者のとりまとめを遺族会及び区長会にお世話になっているが、遺族会役員の高齢化に伴い、遺族会の負担軽減を図ることも今後考えていく必要がある。			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	22地域福祉計画策定事業
細事業名	01 地域福祉計画策定事業			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
2,558千円		2,559千円	1千円	99.9%
目的	平成19年3月に策定した第1次地域福祉計画（平成19年度～平成23年度）に引き続き、平成24年度からの第2次地域福祉計画を策定する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○需用費 248千円  地域福祉計画書印刷製本費  （製本版 500部、ダイジェスト版 1,000部）</p> <p>○委託料 2,310千円  地域福祉計画策定委託料  （第2次地域福祉計画 計画期間：平成24年度～平成28年度）</p>			
主な財源				
評価・課題等	計画では、地域の生活に密着した地域福祉の推進の在り方を示し、誰もが地域の中で安心して暮らせるように地域ぐるみの取り組みや市の支援策についてまとめ、より継続的・系統的に地域福祉を推進していくための計画の改定を行うことができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	12健康と福祉のまちづくり審議会事業										
細事業名	01 健康と福祉のまちづくり審議会事業			決算書	P.122									
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進										
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率									
461千円		461千円		0千円	100.0%									
目的	市民の健康づくりと福祉の増進を図るため審議会を設け、市長の諮問に応じた各福祉分野の調査、研究及び審議等を行う。													
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>審議会委員：26人  委員任期：平成22年12月17日～平成23年12月16日まで  平成23年12月17日～平成24年12月16日まで  審議会の開催：2回  （審議内容）</p> <table border="0"> <tr> <td>◇京丹後市健康増進計画 中間評価・見直し</td> <td rowspan="2">}</td> <td rowspan="2">答申：平成23年10月13日</td> </tr> <tr> <td>◇第2次京丹後市障害者計画</td> </tr> <tr> <td>◇第2次京丹後市地域福祉計画</td> <td rowspan="3">}</td> <td rowspan="3">答申：平成24年 1月18日</td> </tr> <tr> <td>◇第3期京丹後市障害福祉計画</td> </tr> <tr> <td>◇第5期京丹後市高齢者保健福祉計画</td> </tr> </table> <p>各部会の開催  高齢者福祉部会：5回開催  障害者福祉部会：8回開催  地域福祉部会：4回開催  健康づくり推進部会：5回開催</p> <p>○健康と福祉のまちづくり審議会事業  委員報酬 400千円（4千円／回）  費用弁償 53千円  需用費 8千円</p>					◇京丹後市健康増進計画 中間評価・見直し	}	答申：平成23年10月13日	◇第2次京丹後市障害者計画	◇第2次京丹後市地域福祉計画	}	答申：平成24年 1月18日	◇第3期京丹後市障害福祉計画	◇第5期京丹後市高齢者保健福祉計画
◇京丹後市健康増進計画 中間評価・見直し	}	答申：平成23年10月13日												
◇第2次京丹後市障害者計画														
◇第2次京丹後市地域福祉計画	}	答申：平成24年 1月18日												
◇第3期京丹後市障害福祉計画														
◇第5期京丹後市高齢者保健福祉計画														
主な財源														
評価・課題等	各計画の策定について諮問に応じて熱心に審議していただき、答申を受けて各計画を策定することができた。													
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課													

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	19支え合いの地域づくり推進事業	
細事業名	01 支え合いの地域づくり推進事業			決算書	P.124
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率	
40千円		75千円	35千円	53.3%	
目的	「京丹後市地域福祉計画」を推進するため、支え合いの地域づくり推進委員会において、支え合い、助け合えるよう具体的な施策を検討し、施策や事業の実現を図る。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>地域福祉計画の中から検討テーマを選び、平成23年度は、地域住民の意識啓発に努め、人権を尊重し、人との出会いを大切にすまちづくりとして「支えあいの人づくり」について検討した。</p> <p>○支え合いの地域づくり推進事業  推進委員謝金 40千円  推進委員会：4回開催  推進委員：9人  委員任期：平成23年4月1日～平成24年3月31日まで</p> <p>平成23年8月31日、検討結果を提言としてまとめ、市長に提出した。  (提言項目)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域福祉の学習と担い手の育成</li> <li>2. ボランティアの育成とNPO活動の推進</li> <li>3. 団塊世代・高齢者の社会参加の推進</li> </ol>				
主な財源					
評価・課題等	当委員会において、市地域福祉計画の基本4項目の一つである「支えあいの人づくり」について検討いただき、同計画の円滑な推進及び策定に貢献できた。				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	03生活保護費	01生活保護総務費	02生活保護運営管理事業				
細事業名	01 生活保護運営管理事業			決算書 P.158				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率				
10,567千円		11,078千円	511千円	95.3%				
目的	生活保護の実施機関として、生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適正に運用する。							
主要な事業・事業及び成果の概要	生活保護法に基づく事務を円滑に行い、適正な生活保護費支給事業に努めた。 生活保護受給者の自立を支援することを目的に、よりきめ細かな相談を行うための面接相談員の設置、自立支援プログラムに基づく就労支援や健康管理支援、手持金の少ない生活保護申請者に対する一時的な生活資金の貸付を行った。 また、医療扶助の適正化を図るため電子レセプトシステムを活用したほか、業務の効率化を図るため生活保護システムサーバの更新を行った。							
	○就労支援員賃金 (1人 週5日31時間)	1,284 千円						
	○健康管理支援員賃金 (1人 週3日21時間)	986 千円						
	○面接相談員賃金 (1人 週5日31時間)	1,371 千円						
	○臨時職員雇用に伴う共済費(社会保険料・雇用保険料)	433 千円						
	○生活保護申請者への一時支援資金貸付金(26件)	705 千円						
	○医療扶助適正実施経費 (レセプト点検委託料・生活保護レセプト管理システム保守委託料・通信運搬費)	640 千円						
	○生活保護システムサーバ更新経費	1,702 千円						
	○生活保護システム改修経費(新年度基準改定への対応)	210 千円						
	○その他経費(生活保護嘱託医報酬、旅費ほか)	3,236 千円						
	被保護世帯数	被保護人員	保護率	面接相談件数	申請件数	開始件数	却下・取下げ	廃止件数
19年度	254世帯	392人	6.4%	172件	75件	58件	17件	33件
20年度	279世帯	433人	7.2%	211件	73件	57件	16件	33件
21年度	320世帯	479人	8.0%	269件	85件	75件	10件	31件
22年度	351世帯	542人	9.2%	236件	102件	80件	22件	46件
23年度	371世帯	561人	9.7%	182件	64件	50件	14件	29件
※保護率＝被保護人員／京丹後市人口、単位は1／1,000の％で表示 (各年度とも3月末現在)								
主な財源	国補	セ-ワネット支援対策等事業費補助金(10/10)				3,732千円		
	府補	緊急雇用対策基金事業費補助金(10/10)				1,489千円		
	諸収入	一時支援資金貸付金元金収入				705千円		
	諸収入	一時支援資金貸付金元金収入滞納繰越分				60千円		
評価・課題等	○自立支援プログラム活用による就労実現など、受給者の自立に向けた支援を行うことができた。また、平成23年度から運用を開始した債権管理システムを活用し、より適正で効率的な債権管理を行うことができた。 ○今後も、自立支援プログラムの充実等により受給者の支援を適切に実施するとともに、電子レセプトシステム等を活用し、生活保護費の約6割を占める医療扶助費の適正実施に努める必要がある。							
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課							

予算科目	O3民生費		O3生活保護費		O2生活保護扶助費		O1生活保護費支給事業																																																																																													
細事業名	O1 生活保護費支給事業										決算書	P.158																																																																																								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市				計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																																																																																													
決算額 ①		最終予算額 ②				不用額 (②-①)		執行率																																																																																												
713,045千円		713,046千円				1千円		99.9%																																																																																												
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための経済的援助を行うとともに、その世帯の自立を支援する。																																																																																																			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>生活が困窮し要保護状態となっている世帯に対して、生活保護法による最低生活費の基準に基づいて算定した扶助費を月毎に支給するが、被保護世帯数は、合併以来増加傾向にあり、平成23年度においても、申請件数・開始件数とも増加し、前年度と比べ20世帯・19人の増となった。但し、扶助費の総額においては、医療扶助費の減少等により前年度より5,944千円減少した。</p> <p>最低生活の保障のために、単なる経済的給付に留まらず、被保護世帯の自立に向けて、就労支援等の効果的な支援を行う必要があり、職業安定所・保健所・警察・学校などの各関係機関と連携のもと、支援を行った。</p>																																																																																																			
	【生活保護世帯の状況】 (各年度とも3月末日の数値) (単位：世帯、人)																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">峰山町</th> <th colspan="2">大宮町</th> <th colspan="2">網野町</th> <th colspan="2">丹後町</th> <th colspan="2">弥栄町</th> <th colspan="2">久美浜町</th> <th colspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>世帯数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>85</td> <td>123</td> <td>45</td> <td>71</td> <td>71</td> <td>122</td> <td>26</td> <td>32</td> <td>21</td> <td>36</td> <td>31</td> <td>49</td> <td>279</td> <td>433</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>93</td> <td>137</td> <td>50</td> <td>72</td> <td>87</td> <td>139</td> <td>29</td> <td>38</td> <td>20</td> <td>32</td> <td>41</td> <td>61</td> <td>320</td> <td>479</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>90</td> <td>131</td> <td>55</td> <td>85</td> <td>98</td> <td>160</td> <td>31</td> <td>40</td> <td>27</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>81</td> <td>351</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>97</td> <td>138</td> <td>57</td> <td>84</td> <td>107</td> <td>167</td> <td>35</td> <td>46</td> <td>30</td> <td>48</td> <td>45</td> <td>78</td> <td>371</td> <td>561</td> </tr> </tbody> </table>													峰山町		大宮町		網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町		合計		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	平成20年度	85	123	45	71	71	122	26	32	21	36	31	49	279	433	平成21年度	93	137	50	72	87	139	29	38	20	32	41	61	320	479	平成22年度	90	131	55	85	98	160	31	40	27	45	50	81	351	542	平成23年度	97	138	57	84	107	167	35	46	30	48	45	78	371
	峰山町		大宮町		網野町		丹後町		弥栄町		久美浜町			合計																																																																																						
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数																																																																																						
平成20年度	85	123	45	71	71	122	26	32	21	36	31	49	279	433																																																																																						
平成21年度	93	137	50	72	87	139	29	38	20	32	41	61	320	479																																																																																						
平成22年度	90	131	55	85	98	160	31	40	27	45	50	81	351	542																																																																																						
平成23年度	97	138	57	84	107	167	35	46	30	48	45	78	371	561																																																																																						
主な財源	【生活保護費の支給状況】 (単位：千円)																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>生活扶助費</th> <th>住宅扶助費</th> <th>教育扶助費</th> <th>介護扶助費</th> <th>医療扶助費</th> <th>出産扶助費</th> <th>生業扶助費</th> <th>葬祭扶助費</th> <th>施設事務費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成20年度</td> <td>155,266</td> <td>51,428</td> <td>3,633</td> <td>12,220</td> <td>352,512</td> <td>112</td> <td>2,222</td> <td>245</td> <td>7,096</td> <td>584,734</td> </tr> <tr> <td>平成21年度</td> <td>169,717</td> <td>58,542</td> <td>4,184</td> <td>10,116</td> <td>358,805</td> <td>55</td> <td>3,202</td> <td>0</td> <td>5,385</td> <td>610,006</td> </tr> <tr> <td>平成22年度</td> <td>201,478</td> <td>71,113</td> <td>5,072</td> <td>14,137</td> <td>418,096</td> <td>0</td> <td>4,416</td> <td>0</td> <td>4,678</td> <td>718,990</td> </tr> <tr> <td>平成23年度</td> <td>204,754</td> <td>74,533</td> <td>5,622</td> <td>20,265</td> <td>399,370</td> <td>0</td> <td>4,001</td> <td>616</td> <td>3,884</td> <td>713,045</td> </tr> </tbody> </table>													生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	出産扶助費	生業扶助費	葬祭扶助費	施設事務費	合計	平成20年度	155,266	51,428	3,633	12,220	352,512	112	2,222	245	7,096	584,734	平成21年度	169,717	58,542	4,184	10,116	358,805	55	3,202	0	5,385	610,006	平成22年度	201,478	71,113	5,072	14,137	418,096	0	4,416	0	4,678	718,990	平成23年度	204,754	74,533	5,622	20,265	399,370	0	4,001	616	3,884	713,045																																	
		生活扶助費	住宅扶助費	教育扶助費	介護扶助費	医療扶助費	出産扶助費	生業扶助費	葬祭扶助費	施設事務費	合計																																																																																									
平成20年度	155,266	51,428	3,633	12,220	352,512	112	2,222	245	7,096	584,734																																																																																										
平成21年度	169,717	58,542	4,184	10,116	358,805	55	3,202	0	5,385	610,006																																																																																										
平成22年度	201,478	71,113	5,072	14,137	418,096	0	4,416	0	4,678	718,990																																																																																										
平成23年度	204,754	74,533	5,622	20,265	399,370	0	4,001	616	3,884	713,045																																																																																										
国負	生活保護費負担金 (3/4)										549,577千円																																																																																									
評価・課題等	<p>○生活保護支給対象世帯371世帯・561人に対して、適正な生活保護費の支給を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することができた。</p> <p>○増加する生活保護申請・受給者に対して適正な制度の実施と自立支援を推進する必要がある。</p>																																																																																																			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																																																																																																			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	03くらしの資金貸付事業	
細事業名	01 くらしの資金貸付事業			決算書	P.118
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
3,615千円		3,616千円		1千円	99.9%
目的	一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、くらしのための緊急に必要とする資金の貸付を行い、これらの世帯の自立更生及び生活意欲の促進を図ることを目的とする。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ くらしの資金貸付金 3,480 千円 平成23年度実績 申請件数 52 件 貸付件数 39 件</li> <li>○ くらしの資金貸付金管理システム保守委託料 126 千円</li> <li>○ 需用費（督促状印刷代 500枚） 9 千円</li> </ul>				
主な財源	諸収入 くらしの資金貸付金元金収入				3,480千円
評価・課題等	<p>○一時的に生活が不安定な低所得者世帯に対し、緊急的な貸付支援を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。</p> <p>○世帯の自立に向けた生活支援のために、貸付支援だけでなく、より一層、関係部署及び関係機関と連携を図る必要がある。</p>				
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課				

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	21住宅手当緊急特別措置事業																								
細事業名	01 住宅手当緊急特別措置事業			決算書 P.126																								
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																								
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																								
434千円		434千円	0千円	100.0%																								
目的	就労能力及び常用就職の意欲のある離職者のうち、住宅を喪失している者または喪失するおそれのある者に対し、住宅を確保し、生活の再建を支援するため、住宅手当を支給する。																											
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○住宅手当緊急特別措置事業補助金 414千円</p> <p>就労能力及び常用就職の意欲のある離職者のうち、住宅を喪失している者または喪失するおそれのある者に対し、住宅手当を支給することにより、これらの者の住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行った。</p> <p>申請件数 4件 (継続分2件、新規分2件)</p> <p>決定件数 4件 (年度毎に決定が必要)</p> <p>住宅手当支給額 414千円</p> <p>【内訳】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象者</th> <th>月額</th> <th>支給月数</th> <th>支給額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>49,700円</td> <td>× 1か月</td> <td>= 49,700円</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>30,000円</td> <td>× 4か月</td> <td>= 120,000円</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>40,000円</td> <td>× 3か月</td> <td>= 120,000円</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>18,100円</td> <td>× 3か月</td> <td>= 54,300円</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>35,000円</td> <td>× 2か月</td> <td>= 70,000円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(上限額：単身世帯38,200円・複数世帯49,700円)</p>				対象者	月額	支給月数	支給額	A	49,700円	× 1か月	= 49,700円	B	30,000円	× 4か月	= 120,000円	C	40,000円	× 3か月	= 120,000円	〃	18,100円	× 3か月	= 54,300円	D	35,000円	× 2か月	= 70,000円
	対象者	月額	支給月数	支給額																								
A	49,700円	× 1か月	= 49,700円																									
B	30,000円	× 4か月	= 120,000円																									
C	40,000円	× 3か月	= 120,000円																									
〃	18,100円	× 3か月	= 54,300円																									
D	35,000円	× 2か月	= 70,000円																									
	<p>○消耗品費 (事務経費) 20千円</p>																											
主な財源	府補 住宅手当緊急特別措置事業補助金 (10/10)			434千円																								
評価・課題等	住宅手当の支給による離職者の住居の確保はもとより、これらの方の就労機会の確保に向けた支援を行うことができた。																											
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課																											

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	06民生委員・児童委員活動事業			
細事業名	01 民生児童委員活動事業			決算書 P.118			
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進			
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率			
20,892千円		20,896千円	4千円	99.9%			
目的	民生児童委員活動を支援するとともに、活動に対して補助金を交付し、民生児童委員活動の充実を図る。						
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旅費（先進地視察職員随行旅費等） 163千円</li> <li>○需用費 57千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料費（研修会等バス燃料代） 57千円</li> </ul> </li> <li>○委託料（各種視察研修バス運転委託料） 114千円</li> <li>○使用料及び賃借料 149千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車借上料（全員研修会バス借上料） 126千円</li> <li>有料道路通行料 6千円</li> <li>会場借上料（木津川市民児協交流会 アミティ丹後） 17千円</li> </ul> </li> <li>○負担金、補助及び交付金 20,409千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>各単位民生児童委員協議会活動費補助金 <ul style="list-style-type: none"> <li>峰山町 4,062千円</li> <li>大宮町 3,250千円</li> <li>網野町 4,581千円</li> <li>丹後町 2,633千円</li> <li>弥栄町 1,921千円</li> <li>久美浜町 3,962千円</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>						
	*各単位民生児童委員協議会委員数 (単位：人)						
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
	39	31	44	25	18	38	195
主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金			11,325千円		
	府補	民生委員協議会会長活動費補助金			72千円		
	府補	民生委員協議会地域福祉活動促進費補助金			710千円		
評価・課題等	<p>○活動に対する補助金を交付することで、民生児童委員活動の充実が図られ、地域福祉が推進された。</p> <p>○民生児童委員に求められる知識は非常に幅広く、さらに制度改正が頻繁に行われる中、委員の資質向上を図るため、今後も適宜、研修会の実施や情報提供、また委員同士の意見交換の場の提供を行っていく必要がある。</p>						
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課						

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	17災害時要援護者支援事業
細事業名	01 災害時要援護者支援事業			決算書 P.124
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
765千円		766千円	1千円	99.8%
目的	災害時の避難支援プランの全体計画に基づき、避難行動要支援者台帳の継続的な台帳管理を行うため、台帳の定期更新等を実施し、関係機関との情報共有を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○需用費 64千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 10千円</li> <li>・印刷製本費（手引き） 54千円</li> </ul> <p>○通信運搬費 163千円</p> <p>定期更新等により、個別台帳に変更及び新規登録があった場合、支援者に更新後の台帳を送付することで、情報共有を図った。</p> <p>○委託料 208千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時要援護者支援システム保守委託料 103千円</li> <li>・災害時要援護者支援システム改修委託料 105千円</li> </ul> <p>名寄せ機能の改修により、各種データ統合作業の省力化を図った。</p> <p>○償還金利子及び割引料 330千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過年度国庫支出金返還金</li> </ul> <p>平成22年度セーフティネット支援対策等事業費補助金返還金</p> <p>（参考） 避難行動要支援者登録者数：2,117人（平成24年3月1日現在）</p>			
主な財源	府補 未来づくり交付金（災害時要援護者支援事業）			200千円
評価・課題等	<p>○災害時要援護者支援システムを導入したことで、区長や民生児童委員の協力を得て作成される台帳の管理及び更新業務が、迅速に行えるようになった。</p> <p>○区長や民生児童委員の協力のもと、毎年、基準日における定期更新を行うことで、さらに地域住民の意識の向上を図るとともに、市の各部署及び関係機関との連携を取りながら、災害時も安心な体制整備を進める必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	11母子・父子福祉事業
細事業名	01 母子寡婦福祉会活動費補助金			決算書 P.122
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
500千円		500千円	0千円	100.0%
目的	母子・寡婦家庭の交流・親睦を図るとともに、自立を促進するなどの活動を行う母子寡婦福祉会に対し、活動費補助金を交付し支援を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>◎母子寡婦福祉会活動費補助金 500千円          会員数：190人</p> <p>【母子寡婦福祉会活動内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○京丹後市母子寡婦福祉会総会（平成23年5月15日、参加者60人）</li> <li>○京都府母子寡婦福祉会研修大会（京都市、平成23年10月23日、参加者40人）</li> <li>○ひとり親家庭「いきいきふれあい事業」           <ul style="list-style-type: none"> <li>・大阪ひらかたパーク（平成23年7月23日、参加者70人）</li> <li>・りんご狩り（神鍋高原、平成23年11月26日、参加者39人）</li> </ul> </li> <li>○寡婦親睦事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>・香川県三好市 大歩危・かずら橋（平成23年11月5日、参加者34人）</li> </ul> </li> </ul> <p>【京丹後市婦人連合会と共催事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○元気塾           <ul style="list-style-type: none"> <li>・野田川フォレストパーク                （平成23年10月16日、参加者58人（母子50人、父子8人））</li> <li>・阪神、淡路大震災記念館（平成24年3月11日、参加者50人）</li> </ul> </li> </ul>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○京丹後市母子寡婦福祉会に対して補助金を交付することで、母子・寡婦家庭の福祉の向上及び自立を促すことができた。</p> <p>○就労や子育てなど厳しい状況のもと母子会員の加入が減少する中、会員相互の親睦を図るとともに、自立を促進するなど魅力ある運営に努め、会員拡大のための取り組み強化が必要である。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	11母子・父子福祉事業
細事業名	02 父子会活動費補助金			決算書 P.122
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
49千円		49千円	0千円	100.0%
目的	父子家庭の会員相互の親睦・交流を図るとともに、その福祉向上のために活動を行う父子会に対し活動費補助金を交付し活動の支援を行う。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>◎父子会活動費補助金 49千円 会員数：8人</p> <p>【父子会活動内容】</p> <p>○父子会総会 (平成23年4月17日、参加者4人)</p> <p>○バーベキュー大会 (平成23年10月16日、参加者4人)</p> <p>【京都府社会協議会開催事業】</p> <p>○ふれあいキャンプ：まいまいハウス (平成23年8月6日・7日、参加者2人)</p> <p>○京都府北部5市父子家庭親子1日交流会：海遊館 (平成23年11月13日、参加者2人)</p> <p>【京丹後市婦人連合会と共催事業】</p> <p>○元気塾 野田川フォレストパーク (平成23年10月16日、参加者58人(母子50人、父子8人))</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○父子会に活動補助金を交付し、交流の場を提供することはできたが、父子会の活動を全体の活動へと広げることができなかった。</p> <p>○就労や子育てなど厳しい状況であるが、引き続き、ひとり親家庭の交流により相互支援が行える組織とするため、また、会員の拡大に向け支援を行う必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	09社会福祉協議会活動助成事業																				
細事業名	01 社会福祉協議会運営費補助金			決算書 P.120																				
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																				
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率																				
73,740千円		73,740千円	0千円	100.0%																				
目的	社会福祉活動の充実と円滑な協議会運営を支援するため、社会福祉協議会の本所及び5支所の事務員人件費等の補助を行う。																							
主要な事務・事業及び成果の概要	○社会福祉協議会運営費補助金		73,740千円																					
	※社会福祉協議会の補助対象職員：19人																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>補助対象職員数</th> <th>補助金</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H18</td> <td>27人</td> <td>96,054千円</td> </tr> <tr> <td>H19</td> <td>26人</td> <td>92,116千円</td> </tr> <tr> <td>H20</td> <td>19人</td> <td>73,740千円</td> </tr> <tr> <td>H21</td> <td>19人</td> <td>73,740千円</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>19人</td> <td>73,740千円</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>19人</td> <td>73,740千円</td> </tr> </tbody> </table>					補助対象職員数	補助金	H18	27人	96,054千円	H19	26人	92,116千円	H20	19人	73,740千円	H21	19人	73,740千円	H22	19人	73,740千円	H23	19人
	補助対象職員数	補助金																						
H18	27人	96,054千円																						
H19	26人	92,116千円																						
H20	19人	73,740千円																						
H21	19人	73,740千円																						
H22	19人	73,740千円																						
H23	19人	73,740千円																						
<p>市が策定した「地域福祉計画」と深く関連し、社会福祉協議会の目的である「地域福祉の推進」を福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取り組みを進めている。</p>																								
主な財源																								
評価・課題等	<p>○地域福祉のまちづくりの推進、充実、発展のために京丹後市社会福祉協議会の人件費を補助することで、社協活動の充実と円滑な協議会運営に寄与できた。</p> <p>○市社会福祉協議会は地域福祉推進の要であり、今後も継続的に支援していく必要がある。</p>																							
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																							

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	09社会福祉協議会活動助成事業
細事業名	02 地域福祉活動事業補助金			決算書 P.120
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
850千円		850千円	0千円	100.0%
目的	地域福祉の向上を図るため、地域の福祉委員や民生委員、地区役員などの協力を得て社会福祉協議会が行う地域福祉活動事業に対して補助金を交付する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○地域福祉活動事業補助金 850千円</p> <p>(主な活動内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民懇談会 実施数38回 807人参加</li> <li>・福祉教育推進事業 実施数69回 12,660人参加</li> <li>・災害ボランティアセンター立上げ運用訓練の実施 46人参加</li> <li>・高齢者見守り活動強化事業 27地区の福祉推進組織等が個別訪問等により実施</li> <li>・ふれあいサロン <ul style="list-style-type: none"> <li>地域主催サロン 実施数858回 15,781人参加</li> <li>ボランティア主催サロン 実施数314回 4,704人参加</li> </ul> </li> <li>・ふれあいサロン担い手研修会 実施数7回 204人参加</li> </ul> <p>※ 災害ボランティアセンターは、市と京丹後市社会福祉協議会との協定に基づき、災害時に市からの要請により、京丹後市社会福祉協議会に立ち上げられます。 災害ボランティアセンターの活動内容は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 一般災害ボランティアの受け入れ、派遣に関すること</li> <li>(2) 報道機関等への一般ボランティア受け入れに関する情報資料の提供</li> <li>(3) その他、災害応急及び復興活動に関する支援</li> </ol>			
主な財源				
評価・課題等	地域福祉のまちづくりの推進、充実、発展のために、その担い手である社会福祉協議会が実施した住民参加の地域福祉活動事業に対して補助金を交付することで、地域福祉の向上を図ることができた。			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	20京丹後市社会福祉大会開催事業
細事業名	01 京丹後市社会福祉大会開催事業			決算書 P.124
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
165千円		183千円	18千円	90.1%
目的	福祉関係者が一堂に会し、地域福祉の発展と市民一人ひとりが地域で安心して暮らせる福祉社会の形成を図ることを目的として開催する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○報償費 112千円</p> <p>手話通訳・要約筆記者謝礼 32千円</p> <p>講師謝礼 80千円</p> <p>○需用費（消耗品、印刷製本費） 49千円</p> <p>○役務費（通信運搬費） 4千円</p> <p>【第2回京丹後市社会福祉大会】</p> <p>開催日 平成23年11月19日(土)</p> <p>場 所 京丹後市峰山総合福祉センター コミュニティホール</p> <p>内 容 (第1部)表彰式典 (第2部)記念講演ほか 参加者数：160人</p> <p>記念講演</p> <p>講 師 天台宗総本山比叡山延暦寺僧侶 藤井 妙法 氏</p> <p>演 題 みんな同じ人間だもの～人の痛みがわかる人間になろう～</p>			
主な財源				
評価・課題等	<p>○地域の方々、社会福祉協議会や社会福祉施設関係者、民生児童委員、ボランティア及び行政等の福祉関係者が一堂に会し、それぞれの役割を再認識し連携を深めることができた。</p> <p>○今後も3年毎に継続して開催していく予定である。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	23福祉人材育成事業
細事業名	01 福祉人材育成事業			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
45千円		100千円	55千円	45.0%
目的	誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らしていくために必要な助け合いや支え合いの意識を高め、地域福祉を担う人材を育成する。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○報償費（講師謝金） 45千円</p> <p>【講演会】</p> <p>開催日 平成23年10月20日(木)</p> <p>会場 京丹後市峰山総合福祉センター コミュニティホール</p> <p>講師 大阪府立大学 人間社会学部社会福祉学科 小野 達也 先生</p> <p>演題 地域福祉のあたらしい可能性</p> <p>参加者 90人</p>			
主な財源	府補 未来づくり交付金（福祉人材育成事業）			20千円
評価・課題等	<p>○地域福祉の円滑な推進を図るためには、地域福祉活動の中核となる人材の育成が不可欠であり、市民及び福祉団体関係者を対象にした講演会を通じて地域での人と人とのつながりの重要性を再認識してもらい、地域における福祉力の向上を目指した。</p> <p>○地域福祉の性格上、すぐに成果が現れにくいものであることから、継続して実施していく必要がある。</p>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	50社会福祉総務一般経費
細事業名	01 社会福祉総務一般経費			決算書 P.126
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
決算額 ①		最終予算額 ②	不用額 (②-①)	執行率
9,544千円		10,030千円	486千円	95.1%
目的	福祉事務所の円滑な運営を行うための事務経費である。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○福祉事務所共通物品購入経費（事務用品、封筒等） 2,865千円</li> <li>○福祉事務所公用車管理経費 3,608千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>修繕料 1,088千円（公用車車検、定期点検、修理費用）</li> <li>燃料費 1,635千円</li> <li>役務費 750千円（自動車登録、ETCカード手数料、自賠責保険料等）</li> <li>公課費 135千円（自動車重量税）</li> </ul> </li> <li>○社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング受講料（1人） 67千円</li> <li>○社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング研修旅費（1人） 82千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>場所：神奈川県葉山町（ロフォス湘南）</li> </ul> </li> <li>○普通旅費 86千円</li> <li>○母子家庭奨学金申請書に関する通知書郵送料 44千円</li> <li>○印刷機リース料等 332千円</li> <li>○備品購入費（公用車1台） 1,095千円</li> <li>○雪下ろし等緊急支援補助金（159件） 1,340千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>補助率：1回あたり除雪費用が、16千円を超える部分の1/2（上限12千円）</li> </ul> </li> <li>○その他経費（近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金ほか） 25千円</li> </ul>			
主な財源	国委	厚生労働統計調査事務委託金		7千円
	国補	生活保護費補助金		64千円
	府補	雪害対策緊急支援交付金（1/2）		633千円
	諸収入	市有自動車損害共済金		209千円
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○一般経費の適正な執行により、福祉事務所の円滑な事務運営に資することができた。</li> <li>○雪下ろし等に要した経費の一部を助成することによって、当該世帯の安全な居住環境の確保と不安の解消が図れた。</li> <li>○福祉事務所の運営経費等について、一層の経費節減を図っていく。</li> </ul>			
事業所管課	健康長寿福祉部／生活福祉課			

予算科目	03民生費	01社会福祉費	01社会福祉総務費	10災害見舞金等事業																	
細事業名	01 災害見舞金等事業			決算書 P.120																	
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進																	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)																	
1,260千円		1,400千円		140千円																	
				執行率 90.0%																	
目的	被災された市民に対し被災者の生活の安定を支援するため、見舞金、弔慰金の支給を行う。																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>○京丹後市東日本大震災被災者見舞金支給要綱の規定に基づき、東日本大震災で被災し避難のために京丹後市内に居住することとなった世帯に、被災者の生活を支援するための見舞金を支給した。</p> <p style="text-align: right;">東日本大震災被災者見舞金 400千円 100千円×4件=400千円</p>																				
	<p>○京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、風水害、火災等により被災された市民の方に対し、災害見舞金を支給した。また、火災により死亡された遺族の方に対し、災害弔慰金を支給した。</p> <p style="text-align: right;">災害見舞金（火災等によるもの）：7件 260千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th colspan="2">全焼</th> <th colspan="2">半焼</th> <th colspan="2">部分焼</th> <th colspan="2">床上浸水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住家</td> <td>3件</td> <td>150千円</td> <td>3件</td> <td>90千円</td> <td>0件</td> <td>0千円</td> <td>1件</td> <td>20千円</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">災害弔慰金（火災により世帯主が死亡）：2件 600千円</p>					全焼		半焼		部分焼		床上浸水		住家	3件	150千円	3件	90千円	0件	0千円	1件
	全焼		半焼		部分焼		床上浸水														
住家	3件	150千円	3件	90千円	0件	0千円	1件	20千円													
主な財源																					
評価・課題等	<p>○市内に居住されることとなった避難者に見舞金を支給することで、避難者が安定した生活へ円滑に移行できるよう支援することができた。</p> <p>○京丹後市災害見舞金等支給要綱の規定に基づき、風水害、火災等により被災された世帯主に災害見舞金を支給することで、急場をしのご資金として生活の安定を支援することができた。また、火災により世帯主が死亡された遺族の方に対し災害弔慰金を支給し、生活の維持に資することができた。</p>																				
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課																				

予算科目	03民生費	04災害救助費	01災害救助費	02被災者対策住宅復旧資金利子補給事業	
細事業名	01 被災者対策住宅復旧資金利子補給金			決算書	P.160
総合計画	基本方針	Ⅲ 健やか安心都市	計画項目	④ 支えあい、助けあいの地域福祉の推進	
決算額 ①		最終予算額 ②		不用額 (②-①)	執行率
100千円		100千円		0千円	100.0%
目的	借入金の利子補給金を交付することにより、被災住宅の早期復旧を支援する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>平成18年7月豪雨により住宅に被害を受けた市民に、被災住宅の早期復旧を支援するために、その復旧のための借入金に対して利子補給金を交付した。</p> <p>○事業内容</p> <p>利子補給金（平成18年7月豪雨） 2件 100千円 丹後町 2件</p>				
主な財源					
評価・課題等	被災された市民に利子補給金を交付することにより、被災住宅の早期復旧を支援することができた。				
事業所管課	健康長寿福祉部/生活福祉課				